

観光施設の民間移譲の見通しは

質問 奥州市の観光施設を、民間活力の導入に向け、対象施設見学会等を進めてきた。「市場調査申込書」および「提案概要書」の提出が11月30日となっているが、企業の皆さんからどれくらい申し出があったか。

市長 11月までに「舞鶴の湯」「黒滝温泉」「ひめかゆスキー場」「ひめかゆ温泉」「衣川荘」の5施設に対し、6事業者から民間の経営手法を活用した運営方法の提案がされた。提案内容については、今月中に提案者と対話をし、内容を把握する予定としている。12月末までには、その内容を公表したい。

危険な旧衣川庁舎は早急に解体を

質問 旧衣川総合支所が2度の巨大地震で、支所としての機能を失い危険な状況になった。新庁舎の建設が完成まじかになつたことから、速やかに解体すべきであると考えられているがその



解体予定の旧衣川支庁舎



すがわら ありあき 市長 議員(日本共産党)

計画を伺う。
市長 被災した庁舎は現在も防災無線など、一部機能を継続している。今年度中に新庁舎に移転する。残る旧庁舎の建物は、損壊等の危険性も高いことから、震災復興特別交付税を活用して、平成30年度に解体する計画である。

奥州市のいじめ・不登校の現状は

質問 岩手県のいじめ・不登校の発生状況は、上昇傾向にある。奥州市の状況はどうか。

教育委員長 いじめの状況は、今年度10月末現在の認知数は41件となっている。そのうち解決数は全体の80%に当る361件で、対応については、教職員が生徒の状況を日常的に観察し、複数の目で見守りながら早期対応に努めている。残り12%の事案は、継続して解決に向け指導している。
不登校については、昨年同期と比較して3名多く、対策として、定期的に適応支援会議を開き、生徒の状況や組織としての対応を話し合い、家庭訪問や、面談等を行ないながら、丁寧に対応している。

いじめ防止対策と今後の課題はなにか

質問 県内で平成25年と27年にいじめによる事案があった。「いじめは人間として絶対に許されない」との認識に立ち、いじめを未然に防止し重大事態を招かないよう求められている。教育委員会、学校の対応を伺う。

教育委員長 いじめの認知件数は10月末時点で41件、解決件数は361件である。継続した指導等が必要な事案もあるが、昨年度とほぼ同数である。内容は「冷やかしからかい、悪口」が多く、「パソコンや携帯電話による誹謗中傷」もみられる。各学校で「いじめ防止基本方針」を策定し、人間関係力の向上を図り学級づくりをしなが、未然防止を図っている。

市の財政見通しは

質問 今後の歳入、歳出の見通しと病院事業負担金と新市立病院建設事業費が与える影響はどうか。

市長 平成48年度までの長期財政計画を策定したところである。歳入歳出ともに減少するが、財源不足を補うために財政調整基金等で財源調整しており、平成46年度まで続くと見込んでいる。新市立病院事業では平成35年度から出資金、交際費が増加するが十分対応できる。

病院事業管理者

新市立病院建設事業費は、水沢病院の病床数をもとに算出したが、機能や規模が明確になった時点で進めていく。再編ネットワーク化については今後の検討である。



たかはし まさよし 高橋 政一 議員(市民クラブ)



大津市いじめ防止パンフレット (A4版8ページ)